



■使用評価マニュアル： CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト： CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	プレミスト鳴子北ブライテラス	階数	地下1階 地上6階	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	
建設地	名古屋市緑区鳴子町三丁目49番24	構造	RC造		
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	312 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年3月20日		
敷地面積	3,790 m ²	作成者			
建築面積	1,653 m ²	確認日	2020年3月20日		
延床面積	6,475 m ²	確認者			

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE 1.5 ★:S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B-:★★ C:★	☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30% 標準計算 このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q のスコア= 3.5			
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.5	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.7	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 3.2	
LR 環境負荷低減性			
LR のスコア= 3.3			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2	LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.0	

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺は高低差のある住宅街であるため、ランドマークとしてのシンボル性を兼ね備えたデザインを目指した。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
断熱性能等級4、一次エネルギー消費量等級4を計画し、冷房負荷の軽減に努める。	維持管理しやすい建材を採用し、清掃・点検等の維持管理機能の確保に努める。	街並みに溶け込むような、エレガントモダンな外観とした。機械式駐車場については、ルーバーを設置し周囲からの見栄えに配慮した。エントランス部分の植栽は樹木・地被類など様々な種類で構成した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
一次エネルギー消費量等級4とし、建築物の熱負荷の抑制に努める。	再生リサイクル材を使用するなど資源の保護と削減に努める。	全住戸分の駐車台数を確保し、交通負荷を抑制する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

プレミスト鳴子北フライトテラス

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.5
LR1	エネルギー	3.6	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.4	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	4.0	0.045	
3. 循環型社会				3.2
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.2	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.5



2. 自然共生

評価点 = 2.6



3. 循環型社会

評価点 = 3.2



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。